



2018年 8月24日 金曜日  
(平成30年)

きょうは何の日

薬害根絶デー、つくばエクス  
プレスが開業し県内に八潮、  
三郷中央駅開設 (2005年)



埼玉新聞社 〒331-8686 さいたま市  
北区吉野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930

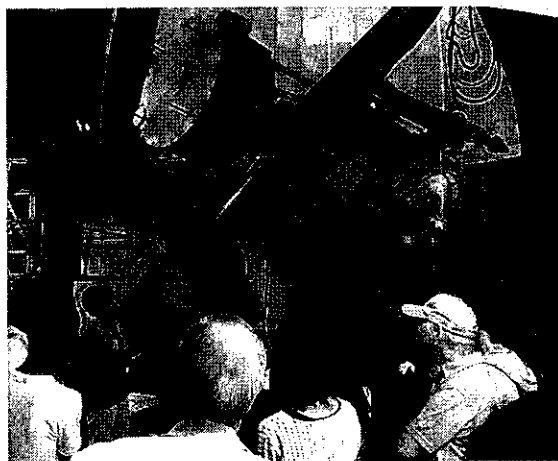
# 歴史や星の見え方学ぶ 国際交流

学生ら

ときがわ町の堂平天文台「星と緑の創造センター」に19日、東京日語学院(さいたま市中央区)の留学生や卒業生8人と、社会福祉法人雀幸園(熊谷市)の高校生20人が招待された。埼玉キウニスクラブなどの協力で実施。同施設は、宿泊施設併設の天文台で、91センチの反射望遠鏡などを使用して星空を見ることが出来る。

1泊2日の日程は、東秩父村「和紙の里」での和紙作り体験からスタート。その後、白石峠からの山道を車で約30分上り、堂平天文台に着いた。

到着後は加須市の分岐流・彩次郎蕎麦(そば)打ち会の指導で、うどん作りを体験した。星空観察は、あいにくの曇り空で見えず、学生らは望遠鏡を前に肩を落としていたが、担当者から天文台の歴史や星の見え方について講義を受けると、何億光年の彼方に輝く星に思いをはせていた。夕食はバーベキューで国際交流を深めた。



天文台で担当者の説明を受ける学生たち  
=19日、ときがわ町の堂平天文台

ベトナム国籍の留学生ホアン・マン・クオンさん(28)は「星が見えないのは残念だったが、和紙やうどん作りで日本文化を体感することができた」と笑顔。雀幸園の新木弘子理事長は、「仲間と語り合った夢をぜひ実現してほしい」と学生たちにエールを送っていた。(桜井勇太)